



公共施設のあり方について

日本共産党 松本 正幸

問 平成26年9月、海老名市公共施設使用料等に関する基本方針が出され、同年11月、公共施設白書の作成、そして平成27年、公共施設再編計画策定委員会が設置されて、公共施設再編計画の策定が進められてきました。この間、無作為抽出のアンケートが3000人を対象に実施され、公共施設再編計画に取り入れていくとのことでした。

平成28年度に公共施設再編計画が策定されるということですが、現時点の状況について伺います。また、平成26年9月定例会の一般質問で市長はコミュニティセンター、文化センターの有料化を平成28年以降に検討するとのことですが、現時点の考えを伺います。

答（市長）：現在、公共施設再編計画策定委員会において、計画素案の諮問に対する議論がされております。今後も、委員会における議論や市民の意見を伺いながら、計画策定に取り組んでまいります。

答（財務部長）：公共施設に附帯する大規模駐車場について、公共交通を利用する方の一定の費用負担を考慮するとともに、目的外駐車を避けるためにも有料化は必要であると考えていますが、1時間以内の利用や障がい者本人の利用などには、減免規定の見直しを考えています。

現在各施設所管において、利用状況や設備投資に係る費用対効果の検証を進めており、今後施設ごとに実施判断を行っていく予定です。

その他の質問

・子ども・青年・大人への経済的支援策について

・図書館のあり方と運営について



市民の意見を反映した計画策定を



老朽化する公共施設への対策について

創志会 志野 誠也

問 総務省は、平成29年度までに統一的な基準による財務書類、固定資産台帳の作成を全ての自治体に要請していますが、固定資産台帳は公共施設の老朽化問題と切り離せない関係です。そこで、①固定資産台帳の整備状況②公共施設再編計画と個別計画との位置づけについて伺います。

また将来、学校とコミセンなど施設の複合化を考えるなら、③各部にまたがることになる個別計画をしっかりと整理してほしいと思いますが、いかがですか。

さらに、精緻な固定資産台帳の整備が重要ですが、この取り組みは財務部だけでなく、すべての部に関係します。④市長から取り組みの促進を図ってほしいと思いますが、いかがですか。

答（市長）：①平成28年度決算からの統一モデルの導入に向けて、鋭意努力して取り組んでおります。統一モデルになると既存の固定資産台帳システムでは対応できないことから、現在、システムの再整備を進めています。

答（財務部長）：②公共施設再編計画は、将来にわたり持続可能な公共施設全体のあり方と、学校、コミセンといった施設分類ごとの方向性を示すものです。その方向性に基づき、(仮称)学校長寿命化再整備計画などの分野別の計画を各施設所管部門で検討していくこととなります。

③各部にまたがるような対応が必要な場合は、横断的な取り組みを行っていく予定です。

答（市長）：④各部に共通する部分ですから、統一的に一生懸命取り組みむように、あるいは関心を持つように、指示していきたいと思っています。

その他の質問

・道路破損等を市民が簡単に通報できる仕組みについて

・クラウドファンディングの取り組みについて



相模線の複線化と鉄道三線とまちづくりについて

太平会 氏家 康太

問 複線化を含め、相模線の輸送力の改善、駅周辺整備など、誰もが利用しやすい公共交通体系実現のため、県、沿線の自治体と商工会議所・商工会で構成される相模線複線化等促進期成同盟会が結成されています。相模線の複線化については毎年議会からも要望がでています。

そこで、①期成同盟会のこれまでの活動内容②JR東日本との協議内容や進捗状況③歴代役員の構成④相模線を中心とした交通改善方策と整備構想、利用促進方策に基づく海老名市の対応について伺います。また、⑤踏切の解消策について、今後の計画などがあるか伺います。

答（まちづくり部長）：①地元選出の国会議員をはじめ、JR東日本や国交省に対する毎年の要望活動や沿線ハイキングなどの普及活動です。②同盟会が毎年継続している要望活動では、複線化は利用者の状況など見極めながら長期的に取り組む課題であり、まずは自治体と連携して沿線の活性化を図りたいとの回答を得ています。③同盟会の組織団体から互選により選任されています。④複線化の実施主体はあくまで鉄道事業者であり、複線化に見合う利用者増を図るため駅周辺の環境整備を今後も続けてまいります。

答（建設部長）：⑤下今泉門沢橋線および河原口勝瀬線の整備事業に合わせ、鉄道を高架化することにより2カ所の踏切が廃止され、スムーズな道路交通の確保とまちの分断の解消が図られました。また、社家人道地下通路やエレベーターによる代替施設を整備することにより3カ所の踏切を廃止しました。今後は、県で取り組んでいる下今泉門沢橋線の上郷立体が計画されています。



さらなるまちづくりの発展へ